

中2英語



1章 不定詞・動名詞

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) Reading
- (2) to listen

解説

- (1) 良い本を読むことは君にとっていいことだ。
- (2) 彼女はそのCDを聴くのが好きです。

■ 確認問題 2

解答

- (1) hope to (2) promised to (3) decided to (4) agreed to

解説

目的語に不定詞をとる代表的な動詞。正確に覚えておこう。

■ 確認問題 3

解答

- (1) watching / 訳：私は昨夜、ビデオを見て楽しんだ。
- (2) smoking / 訳：彼は禁煙した。
- (3) going / 訳：彼女は外出するのを延期した。

解説

目的語に動名詞をとる代表的な動詞。正確に覚えておこう。

■ 確認問題 4

解答

- (1) laughing (2) to rain (3) being (4) to go

解説

- (4) の hate は「嫌う、嫌悪する」という強い意味を表す。

■ 確認問題 5

解答

- (1) 彼は私と話したことを覚えていない。
- (2) カメラを持ってくることを忘れないように。
- (3) その女の子はその机を動かそうとしたが、できなかった。

■ 発音・リスニング

解答

① drink

② feeling

③ pink

④ swing

⑤ among

問題

【1】

解答

- (1) dancing
- (2) working
- (3) to visit
- (4) to hold
- (5) drinking
- (6) call
- (7) inviting
- (8) to see
- (9) cooking
- (10) snowing

解説

- (1) enjoy は目的語に動名詞をとる動詞。
- (2) finish は目的語に動名詞をとる動詞。
- (3) hope は目的語に不定詞をとる動詞。
- (4) agree は目的語に不定詞をとる動詞。
- (5) give up は目的語に動名詞をとる動詞（句）。
- (6) 一般動詞の疑問文なので、動詞は原形を用いる。
- (7) 前置詞 for の目的語としては動名詞が用いられる。
- (8) would like to …は「…したいのですが」という意味。
- (9) be poor at ～「～が苦手だ、下手だ」の意。前置詞 at の目的語なので動名詞を用いる。
- (10) 「…することをやめる」は stop + …ing。

【2】

解答

- (1) To walk / Walking
- (2) to drive / driving
- (3) talking
- (4) playing
- (5) seeing
- (6) making
- (7) to lock

解説

- (1) 「…すること」が主語の働きをしている。不定詞でも動名詞でも表せる。
- (2) 「…すること」が補語の働きをしている。不定詞でも動名詞でも表せる。
- (3) enjoy は目的語に動名詞をとる。to talk は不可。

- (4) 前置詞 at の目的語は動名詞。
- (5) 「過去に…したことを覚えている」の意は remember + 動名詞。
- (6) 「…することをやめる」は stop + 動名詞。
- (7) 「(これから) …することを忘れる」は forget + 不定詞。

【3】

解答

- (1) Do you mind opening the window?
- (2) It began raining [to rain] two hours ago.
- (3) He will never forget making such a mistake.
- (4) I remember seeing that woman somewhere.
- (5) How about going out with us tonight?
- (6) James went out of the room without saying a word.
- (7) I visited Sicily before leaving Italy.
- (8) Keiko admitted seeing the boy.
- (9) The weather was terrible yesterday, so we postponed going for a drive.
- (10) It is necessary for him to stop smoking.

解説

- (1) mind は目的語に動名詞をとる動詞。mind + 動名詞は、丁寧な依頼表現においてよく用いられる。
- (2) begin は目的語に不定詞・動名詞のどちらもとれる動詞。
- (3) 「(過去に) …したことを忘れる」は forget + 動名詞。
- (4) 「(過去に) …したことを覚えている」は remember + 動名詞。
- (5) 前置詞 about の目的語は動名詞 going が適切。
- (6) 前置詞 without の目的語は動名詞 saying が適切。
- (7) 前置詞 before の目的語なので、leave は動名詞 leaving に変える。
- (8) admit は目的語に動名詞をとる動詞。
- (9) postpone は目的語に動名詞をとる動詞。
- (10) 「…することをやめる」は stop + 動名詞。

【4】

解答

- (1) Writing / It / to
- (2) stopped to smoke
- (3) Learning
- (4) enjoyed swimming
- (5) without putting

解説

- (1) 3文目は形式主語の It を用いた文。基本的な書き換え表現なので書けるようにしておこう。
- (2) 「…するために止まる」は stop + 不定詞。「彼はタバコを吸うために立ち止まった」の意。
- (3) 動名詞が主語の働きをする文。
- (4) 「泳ぐことを楽しんだ」と考えて、enjoyed swimming とする。
- (5) 「上着を着ることなしに出かけた」と考える。

【5】**解答**

- (1) Mr. [Mrs. / Ms. / Miss] Tamura continued working [to work] for long hours yesterday.
- (2) The boy can read the book without using a dictionary.
- (3) Please stop making a noise here.
- (4) I tried to open the door, but I couldn't.
- (5) Thank you for helping me with my homework.

解説

- (1) continue は目的語に不定詞・動名詞両方をとる動詞。
- (2) 「辞書を使わずに」の部分に注意。前置詞 without + 動名詞は「…することなしに〔…せずに〕」という意味で頻出表現。
- (3) 「騒ぐ」は make a noise。「…することをやめる」は stop + 動名詞。
- (4) try + 不定詞は「…しようとする」の意（実際にしたかは不明）。try + 動名詞で「(実際に) …してみる, やってみる」。
- (5) 前置詞 for の目的語は動名詞にする。to help は不可。

【6】**解答**

- (1) He stopped reading and went to bed.
- (2) I will never forget visiting Kyoto last summer.
- (3) I tried putting on the dress and it fit [fitted].

解説

- (1) 「…することをやめる」は stop + 動名詞。「床に就く」は go to bed。
- (2) 「(過去) に…したことを忘れる」は forget + 動名詞。
- (3) 「(実際に) …してみる」は try + 動名詞。put on ～で「～を身に付ける, 着る」。「着る物が合う」は fit。この意味での活用は fit - fit(ted) - fitted になる。

2章 文型

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) yesterday
- (2) every day
- (3) always / with dishes
- (4) in Tokyo / with his parents
- (5) when we went out

解説

ここでの前置詞を含むまともは副詞句，接続詞が導く節は副詞節である。

■ 確認問題 2

解答

- (1) 彼はいつも疲れているように見える。
- (2) このお茶は甘い香りがする。
- (3) この果物は苦い。
- (4) その話は面白そうだ。
- (5) 春には暖かくなる。
- (6) 彼は背が伸びてきている。
- (7) 彼は私の言葉に怒った。
- (8) 彼はそのニュースを聞いて青ざめた。

■ 確認問題 3

解答

- (1) C / 第2文型
- (2) M / 第1文型
- (3) O / 第3文型
- (4) M / 第1文型
- (5) C, M / 第2文型
- (6) O, M / 第3文型
- (7) M, O, M / 第3文型

解説

- (1) S = C の関係が成立しているので第2文型。
- (2) この前置詞を含むまともは副詞句。
- (3) me は目的語。SVOの第3文型。

- (4) very well は副詞句。
- (5) turn ～ 「～に変わる」 は第2 文型をとる動詞。in fall は副詞句。
- (6) Jane は目的語。with Ann は副詞句。
- (7) usually は頻度を表す副詞。breakfast は have の目的語。at seven は副詞句。

■ 確認問題 4

■ 解答

- (1) 彼は私にその知らせを話した。
- (2) 私は彼に私のアルバムを見せた。
- (3) 私はあなたのために面白い本を見つけてあげましょう。
- (4) 私は彼女のためにチケットを手に入れてあげた。
- (5) 彼は私に本を貸してくれた。
- (6) 彼は娘のために新しい家を建ててあげた。

■ 確認問題 5

■ 解答

- (1) 彼らは私をマックと呼ぶ。
- (2) 私たちは私たちの犬をシンペイと名付けた。
- (3) 私たちは娘を医者にするつもりだ。
- (4) 私たちはシノブを私たちのキャプテンに選んだ。
- (5) その知らせで私たちは幸せな気分になった。
- (6) 太陽は私たちを暖める (太陽のおかげで私たちは暖かくいられる)。
- (7) ドアを開け放しにしてはいけない。
- (8) 彼はそのドアを白く塗った。
- (9) あなたは夕食を用意しなければならない。

■ 解説

- (1) me = Mac の関係が成り立つ。
- (2) our dog = Shinpei の関係が成り立つ。
- (3) our daughter = a doctor の関係が成り立つ。
- (4) Shinobu = our captain の関係が成り立つ。
- (5) us = happy の関係が成り立つ。
- (6) us = warm の関係が成り立つ。
- (7) the door = open の関係が成り立つ。
- (8) the door = white の関係が成り立つ。
- (9) supper = ready の関係が成り立つ。

■ 発音・リスニング

■ 解答

- ① bag ② hung ③ rug ④ tongue ⑤ long

問題

【1】

解答

- (1) 第3文型
- (2) 第1文型
- (3) 第4文型
- (4) 第5文型
- (5) 第2文型
- (6) 第5文型
- (7) 第1文型
- (8) 第3文型
- (9) 第4文型
- (10) 第5文型
- (11) 第2文型
- (12) 第5文型
- (13) 第2文型
- (14) 第3文型
- (15) 第5文型

解説

- (1) S (I), V (enjoyed), O (watching)。enjoy は目的語に動名詞のみをとる動詞であることを思い出そう。
- (2) S (you), V (go)。to 以下は副詞句。
- (3) S (The waiter), V (brought), O 1 (me), O 2 (a cup of coffee)。
- (4) S (Mr. Woods), V (made), O (his son), C (a professional golfer)。O = C の関係が成り立つ第5文型。
- (5) S (It), V (will be), C (cold)。tomorrow は副詞。
- (6) S (Who), V (left), O (the window), C (open)。O = C が成り立つ第5文型。
- (7) 特殊な文型だが、この文は〔主語＋動詞〕で成り立っているので、第1文型としてみなす。
- (8) S (Mike), V (gave), O (it)。to me, on my birthday は副詞句。
- (9) S (I), V (will find), O 1 (you), O 2 (a seat)。
- (10) S (Sally), V (painted), O (the wall), C (yellow)。O = C の関係が成立する第5文型。
- (11) S (My father), V (will be), C (forty)。next month は副詞句。
- (12) S (My sister), V (likes), O (her tea), C (very sweet)。O = C の関係が成り立つ第5文型。
- (13) S (It), V (is getting), C (dark)。
- (14) S (He), V (was doing), O (his homework)。

(15) S (Calcium), V (makes), O (our bones), C (strong)。

【2】

解答

- (1) I bought a tie for him as a birthday present.
- (2) My aunt in Yamagata sent me some cherries yesterday.
- (3) Please lend your dictionary to me.
- (4) They built sick people in the village a new hospital.
- (5) Mr. Nakamura taught us English last year.
- (6) I'll make some salad for you if you want.

解説

- (1) buy は第3文型にすると「～に」の前に前置詞 for が必要。「私は誕生日に彼にネクタイを買ってあげた。」
- (2) 「山形にいる私のおばは昨日私にさくらんぼを送ってくれた。」
- (3) lend は第3文型にすると「～に」の前に前置詞 to が必要。「あなたの辞書を私に貸してください。」
- (4) 「彼らはその村の病んだ人々のために新しい病院を建てた。」
- (5) 「中村先生は昨年私たちに英語を教えた。」
- (6) make は第3文型にすると「～に」の前に前置詞 for が必要。「よかったらいくらかサラダを作りますよ。」

【3】

解答

- (1) has / There are
- (2) teaches us
- (3) good cook
- (4) It rained
- (5) is / careful driver
- (6) me an interesting
- (7) is Tom's
- (8) It takes / by
- (9) tell me your name
- (10) I can't
- (11) made her sad
- (12) will make you

解説

- (1) 類出の書き換え表現。have を用いて表す発想に着目しよう。
- (2) 第4文型の文。us がO 1で、English がO 2。
- (3) 「私の母はとても料理が上手だ」の意。

- (4) 頻出の書き換え表現。a lot「たくさん」は副詞。
- (5) (3)と類似した表現。動詞の名詞化 (drive → driver) に注意。
- (6) 第4文型の文。meがO1で, an interesting storyがO2。
- (7) belong to ~で「~に属している; ~が所有する」の意。
- (8) 「最寄りの駅まで車で1時間の距離だ」の意。「時間がかかる」を表す動詞はtake。
 < It takes +時間+ to ... >で「...するのに~ (=時間) かかる」の意を表す頻出表現。
- (9) 「お名前をお伺いしてもよいですか」→「お名前を教えてくださいませんか」と考える。
- (10) impossibleは「不可能な」の意。すなわち「...できない」と考える。
- (11) 「その知らせは彼女を悲しくさせた」と考える。
- (12) 「食べ過ぎると具合が悪くなりますよ」の意。2文目は動名詞が主語で「...すること」となっている。第5文型の文で動詞makeは「~にさせる」の意で用いられている。

【4】

解答

- (1) Birds fly in the sky.
- (2) My father got angry at my words.
- (3) If you feel tired, you can take a rest in the room.
- (4) I enjoyed fishing in the Tama River last Sunday.
- (5) It was very crowded in the bus. [The bus was very crowded.] She found a seat for the old lady. [She found the old lady a seat.]
- (6) Keiko's letter made me very happy.

解説

- (1) 第1文型の文。
- (2) 第2文型の文。get + 形容詞で「~になる」。
- (3) 前半は第2文型の表現。feel + 形容詞で「~に感じる」。
- (4) enjoy fishingで「釣りを楽しむ」。後に続く前置詞はinであることに注意。
- (5) be crowdedで「混雑している, 混み合っている」。2文目は第3文型, 第4文型の2通りで書くことができる。findは第3文型では「~に」の前に前置詞forを伴う。
- (6) 第5文型の文で表す。< make O + C >で「OをC (な状態) にする」。

【5】

解答

- (1) My mother wrote me a long letter.
- (2) They call their teacher Billy.
- (3) She named her daughter Suzu after her mother.
- (4) I found the movie very exciting.
- (5) The boys elected Tom captain of the team.
- (6) His words made us very sad.
- (7) You should keep it a secret.

(8) You must not leave the windows open.

解説

- (1) < write O 1 + O 2 >で「O 1にO 2を書く」という第4文型の文を作る。
- (2) < call A + B >で「AをBと呼ぶ」という第5文型の文を作る。
- (3) 「AをBと名付ける」という意を表す動詞 name を補って第5文型の文を作る。「～にちなんで」は after ～か for ～で表せる。
- (4) 「見てわかった(気づいた)」という文脈から, find を補う。< find A + B >で「AがBだと気づく」。
- (5) 「AをBに選ぶ」という意を表す動詞 elect を補って第5文型の文を作る。captain のような役職名は無冠詞になることも注意。
- (6) < make A + B >で「AをBにする」という第5文型の文を作る。
- (7) < keep A + B >で「AをBにしておく」という第5文型の文を作る。
- (8) < leave A + B >で「AをBのまま放っておく」という第5文型の文を作る。

[6]

解答

- (1) His name is Ryutaro, and [so] we call him Ryu.
- (2) Please keep [leave] the door open.
- (3) We think Sarah a very honest woman.
- (4) There are two TVs in our house. My father is going to buy a new one for me next month.

解説

- (1) 後半は第5文型を用いた表現。< call O + C >で「OをCと呼ぶ」。
- (2) 第5文型の文。
- (3) 第5文型の文。< think O + C >で「OがCだと思う」。
- (4) 前半は We have two TVs in our house. (第3文型), 後半は My father is going to buy me a new one next month. (第4文型) と表すこともできる。

3章 受動態

要点

■ 確認問題 1

解答

上から順に, opened, closed, cut, come, done, made と入れる。

■ 確認問題 2

解答

(1) is loved (2) was broken (3) is held (4) was found

解説

動詞の時制をよく見て, 正しい be 動詞を用いる。

■ 確認問題 3

解答

- (1) is washed
- (2) was made
- (3) was shut
- (4) is spoken
- (5) I
- (6) It / seen
- (7) This fish / her

解説

- (1) 現在時制・単数主語 (3人称) なので, be 動詞は is。
- (2) 過去時制・単数主語 (3人称) なので, be 動詞は was。
- (3) 過去時制・単数主語 (3人称) なので, be 動詞は was。
- (4) 現在時制・単数主語 (3人称) なので, be 動詞は is。
- (5) me (目的格) の主格 I が当てはまる。
- (6) see - saw - seen
- (7) 格の変化に注意。

■ 確認問題 4

解答

- (1) This room isn't used by my brother now.
Is this room used by my brother now? - Yes, it is. / No, it isn't.
- (2) This picture wasn't painted by Jane.
Was this picture painted by Jane? - Yes, it was. / No, it wasn't.

- (3) Was this book written by Soseki? - Yes, it was.
- (4) Is Chinese taught at their school? - No, it isn't.
- (5) The dishes weren't washed by me yesterday.

解説

- (1) ~ (3) 否定文は be 動詞の後ろに not を付ける。疑問文は be 動詞を主語の前に出す。
- (4) まず肯定文に直してから考えるとわかりやすい。They teach Chinese at their school. を元に考えると, Chinese が主語になり, be 動詞は is になることがわかる。それから, 疑問文に変えていけばよい。
- (5) 過去時制・複数主語であることに留意する。

■ 確認問題 5

解答

- (1) This work can't be done in a week.
- (2) Your address must be written here.
- (3) Will the store be opened at ten o'clock?

解説

<助動詞 + be + 過去分詞>のまとまりを作ること。

■ 確認問題 6

解答

- (1) When were the eggs bought (by them) ?
- (2) Who is this computer used by? [By whom is this computer used?]
- (3) Where was the concert held?

■ 確認問題 7

解答

- (1) English is spoken (by the people) in the country.
- (2) The cake in the box was made by my mother.
- (3) The sentences on the blackboard were read out by Jill.
- (4) Breakfast is usually cooked by Greg.
- (5) The gym is sometimes used by Satoshi.

解説

目的語または主語にかかる修飾語は, そのまとまりのまま移動させることに注意。

■ 発音・リスニング

解答

- ① face ② flower ③ finger ④ elephant ⑤ telephone

問題

【1】

解答

- (1) The alarm clock was set by Jill.
- (2) These clothes were bought by Jill at the store.
- (3) The computer wasn't used by Jack.
- (4) Is Spanish spoken in the Philippines?
- (5) A lot of fish will be caught by Jack in the river.
- (6) My question won't be answered by Jill.
- (7) Will my question be answered by Jill?
- (8) When was the song sung by Jill?
- (9) What was found by Jack in the cave?
- (10) Who was the telephone invented by?
By whom was the telephone invented?

解説

- (1) この文は過去時制の文なので、be 動詞が was になることに注意。
- (2) 目的語 these clothes が主語になる。
- (3) 目的語 the computer が主語になる。
- (4) 目的語 Spanish を主語にした疑問文を作る。be 動詞で始める。
- (5) 目的語 a lot of fish を主語にする。時制は未来なので will be caught となる点に注意。
- (6) 目的語 my question を主語にする。助動詞 will を含むので won't [will not] be answered となることに注意。
- (7) 時制が未来なので、Will で文を始め、be を忘れないようにすること。
- (8) sing の過去分詞は sung。語順に注意。
- (9) 「彼によって洞窟で何が見つけれられましたか」の意。find の過去分詞は found。
- (10) 2通りで表せるので両方で書けるようにしておこう。invent は規則動詞。Who で始める場合、文末の by を忘れないように注意しよう。

【2】

解答

- (1) Who wrote this book?
By whom was this book written?
Who is the author of this book?
- (2) What do you call this flower in Japanese?
What is this flower called in Japanese?
- (3) The bowl was made in Japan and it is about five hundred years old.
The bowl was made in Japan about five hundred years ago.

- (4) This desk was given to me by my uncle.
My uncle gave me this desk.
- (5) What kind of sport are you interested in watching?
What kind of sport do you have an interest in watching?

解説

- (1) author は「著者」の意。
- (2) 頻出の書き換え。主語が漠然とした人々を意味している場合は by ～は省略してよい。
- (3) 1文目は年齢を表す ～ years old を用いた表現。
- (5) be interested in ～で「～に興味がある」。

【3】

解答

- (1) Peter Rabbit is loved by everyone.
- (2) Answers must be written with a pencil.
- (3) English and Cantonese are spoken in Hong Kong.

解説

- (1) 現在時制・単数主語（3人称）なので、be 動詞は is。love は規則動詞なので過去分詞は loved。
- (2) 「答え」は複数あることが考えられるので、こういう場合は複数形 answers とするのがよい。助動詞 must を用いるのでその後には be 動詞の原形 be + 過去分詞が続く。「～を使って」は前置詞 with を用いて表す。
- (3) 主語は複数なので be 動詞は are が適切。by ～は不要。

【4】

解答

- (1) The man was taken to the theater by a police officer.
- (2) The post office is closed at five every day.
- (3) What languages are spoken in Spain?

解説

- (1) 「～に連れていく」は take to ～。これを受動態にして表す。
- (2) 「閉める」は close (⇔ open)。
- (3) 能動態では What languages do they speak in Spain? になる。

4章 形容詞・副詞

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) under
- (2) sounded
- (3) are [taste] very
- (4) in
- (5) dark

解説

- (1) <前置詞 + 名詞>のまとまり。
- (3) very は sour を修飾している。

■ 確認問題 2

解答

- (1) (1) B (2) B
- (2) (1) B (2) C (3) B
- (3) (1) A (2) B
- (4) (1) C (2) B (3) B
- (5) (1) B (2) A
- (6) (1) A

解説

- (1) home は「家へ, 家に」の意の副詞。前に to などの前置詞はつかない。ただし, at home は「家で, 在宅して」の意の熟語なので注意。
- (2) tennis は play の目的語である名詞。
- (3) < turn + 形容詞 >で「～になる, 変わる」。
- (4) parents は know の目的語である名詞。
- (5) very は後にくる beautiful を修飾している。
- (6) < look + 形容詞 >で「～に見える」。

■ 確認問題 3

解答

- (1) hard / hard
- (2) strange
- (3) beautifully
- (4) happily

(5) quietly

(6) badly

解説

(1) 第1文の hard は形容詞, 第2文の hard は副詞。

(2) 叙述用法の形容詞。

(3) dance を修飾する副詞。

(4) sang を修飾する副詞。

(5) walked を修飾する副詞。

(6) injured を修飾する副詞。

■ **確認問題4**

解答

(1) much / 私はその時あまりたくさんミルクを飲まなかった。

(2) a little / 私はイタリア語を少しだけ話す。

(3) little / 私は今日お昼ご飯を食べるお金がほとんどなかった。

(4) any / カップにコーヒーがないので, コーヒーが飲めない。

(5) a lot of / 1月には雪がたくさん降った。

(6) few / 彼はごく少数しか友達がいらない。

■ **発音・リスニング**

解答

(1) ① love ② violin ③ village ④ vase ⑤ voice

(2) ① save ② ferry ③ fast ④ view ⑤ van

問題

【1】

解答

- (1) smell
- (2) tastes
- (3) remained
- (4) sounds
- (5) turned

解説

(1)～(5)はどれも第2文型で頻出の一般動詞。この程度の英文は正確に書けるようにしておこう。

【2】

解答

- (1) easily
- (2) easy
- (3) good / well
- (4) good
- (5) angry
- (6) beautifully
- (7) happy
- (8) happily

解説

- (1) 「簡単に」は動詞 solved を修飾するので、副詞 easily が適切。
- (2) < look + 形容詞 >で「～に見える」。
- (3) 1文目は形容詞を用いた文。2文目の well は副詞で、動詞 cook を修飾している。
- (4) < taste + 形容詞 >で「～の味がする」。
- (5) < get + 形容詞 >で「～になる」。
- (6) 「美しく」は動詞 danced にかかるので、副詞 beautifully が適切。
- (7) < feel + 形容詞 >で「～を感じる」。
- (8) 「幸せに」は動詞 lived にかかるので、副詞 happily が適切。happily ever after は「いつまでも幸せに」の意で物語の終わりなどでよく使われる。

【3】

解答

- (1) A / 門のそばにいる男性を見なさい。
- (2) B / イスの上に座るな。
- (3) B / 彼女はナイフでオレンジを切った。

- (4) B／ある女の子が窓のそばに立っていた。
- (5) A／ストップウォッチを持っている女性は私たちのコーチだ。
- (6) A／私たちは湖の近くの家を買った。
- (7) A／壁にかかっている時計は落ちそうだ。
- (8) A／私は白いシャツを着た少年の名前を知らない。

解説

- (1) man を修飾する形容詞句。
- (2) sit を修飾する副詞句。
- (3) cut を修飾する副詞句。
- (4) stand を修飾する副詞句。
- (5) woman を修飾する形容詞句。
- (6) house を修飾する形容詞句。
- (7) clock を修飾する形容詞句。
- (8) boy を修飾する形容詞句。

【4】

解答

- (1) (1) B
- (2) (1) B (2) B
- (3) (1) A
- (4) (1) C (2) B (3) B
- (5) (1) C (2) A
- (6) (1) C (2) A
- (7) (1) A
- (8) (1) B (2) B
- (9) (1) B (2) B
- (10) (1) A
- (11) (1) C (2) B
- (12) (1) A (2) C

解説

- (1) 動詞 live を修飾する副詞句。
- (2) 動詞 came を修飾する副詞。home は副詞の働きをすることを覚えておこう。
- (3) 形容詞の叙述用法。
- (4) breakfast は動詞 ate の目的語（名詞）。very は quickly を修飾する副詞。
- (5) something は動詞 say の目的語（名詞）。また、something は後ろに修飾語（形容詞）がくるので注意。
- (6) a fly は動詞 see の目的語（名詞）。on the ceiling は形容詞句。
- (7) < look + 形容詞 >で「～に見える」。
- (8) どちらも動詞 sleep を修飾する副詞（句）。

- (9) usually は頻度を表す副詞。before eleven は副詞句。
- (10) 形容詞の叙述用法。
- (11) the work は finish の目的語 (名詞)。by tomorrow は finish を修飾する副詞句。
- (12) building を修飾する形容詞句。a church は補語 (名詞)。

【5】

解答

- (1) ② (2) ④ (3) ②
- (4) ④ (5) ③ (6) ①

解説

- (1) butter は数えられない名詞。①, ③, ④は数えられる名詞につける表現なので不可。
- (2) milk は数えられない名詞。数えられない名詞につけることができるのは②か④だが、前後の文が but でつながっているの、④を選ぶ。
- (3) 「私たちはすぐに決定を下さなければならなかった。考える時間はほとんどなかった」。文脈から「ほとんどなかった」という意味になるように little か few に絞るが、time は数えられない名詞なので little に決まる。
- (4) snow は数えられない名詞なので、much がつく。not ~ very で「あまり～ない」。
- (5) news は数えられない名詞。④の a lot は of がないため、名詞の前には置けない。
- (6) 「彼は宿題をなくして、授業前に見つける見込みはほとんどない」。hope 「見込み」は普通数えられない名詞として用いられる。

【6】

解答

- (1) His story sounds interesting.
- (2) That question seems [looks] easy.
- (3) She found out his telephone number easily.
- (4) She got angry at my words.
- (5) Sam put the book(s) in his bag and walked out of the classroom quietly.

解説

- (1) < sound + 形容詞 >で「～に聞こえる」。
- (2) < look [seem] + 形容詞 >で「～に見える [思える]」。
- (3) 「簡単に」は動詞 found out を修飾する副詞。
- (4) < get + 形容詞 >で「～になる」。
- (5) 「静かに」は「出た」を修飾する副詞。quietly を用いる。

【7】

解答

- (1) 私たちは黒いお茶を紅茶と呼ぶ。
- (2) looks
- (3) ウ
- (4) yellow
- (5) How many colors are there in a rainbow?
How many colors does a rainbow have?
How many colors do you see in a rainbow? など。
- (6) 虹の色が6色であること。
- (7) ア
- (8) 異なる国の人々が物事についてどのように考えるのかということ。
- (9) ウ, オ, カ

解説

- (1) 第5文型の文。call O C 「OをCと呼ぶ」
- (2) 現在の話をしているので時制は現在。3単現のsを忘れないこと。
- (3) Japanese children use a red piece of crayon までがS V Oの文の要素となっている。
when 以下は副詞の働きをするまとめり。
- (4) 前述の「日本の子どもたちは月を描くときに黄色で描く」の内容を受け、「アメリカの子どもたちもまた月を描くときに黄色を使いますか」の意の文である。
- (6) 前述の it has six colors の部分を指している。
- (7) 国によって考えて方が違う、というまとめの部分。内容が合致するのはアのみ。
- (8) 一つ前の文の疑問文、How do people in different countries think ~? を受けている。
- (9) ア, イ, キは本文に記述なし。
エ、日本の子どもたちが月を描くのに使う色は黄色である (10行目参照)。

全訳

あなたはお茶が好きですか。日本では「お茶」というと緑茶のことです。英語の「お茶」は、たいていの場合、black teaを意味します。私たちは日本ではblack teaを紅茶と呼んでいます。この言葉を漢字で書くと、「紅い」お茶という意味になります。カップの中では紅く見えます。

イギリスの人々は「紅い」お茶とは呼びませんし、異なった言語においては異なった色の名前が付けられるのです。そこで、同じものについての異なった考え方を知ることは重要なことなのです。このことに、別の例があるでしょうか。

太陽の色は何色でしょうか？ 日本の子供たちは太陽を描く時、赤いクレヨンを使います。なぜなら、日本の人々は、太陽が赤いと思っているからです。でも、アメリカの子供たちは太陽に黄色のクレヨンを使います。そのように人々は太陽についての異なった考えを持っています。日本の子供たちは月には黄色のクレヨンを使います。アメリカの子供たちも月に黄

色いクレヨンを使うのでしょうか？ いくつかの国では、子供たちは白を使います。

色についてはまた別の問題があります。虹にはいくつの色がありますか。多くの日本の子供たちは「7つ」と言うでしょう。でも、他の国から来た人たちは「6つ」というかもしれません。「3つ」と言う人たちもいるでしょう。虹を見上げてみましょう。雨がやんだ時に、時々私たちは虹を見ることができます。その色を簡単に数えられるのでしょうか？ いいえ、簡単ではありません。私たちには、色どうしの境目がはっきりとは見分けられないのです。それでは、なぜ日本の子供たちは虹は七色と思うのでしょうか。日本では、人々は「虹は七色に見えるんだよ」と子供たちに言います。それで、子供たちはこれが正しいのだと思うのです。ある国々では、人々は六色だと思い、彼らは子供たちにそう教えます。

人々は国が異なれば、しばしば考え方も異なります。太陽や、月や、虹を見る時、このことを思い出してください。あなた自身の目で、物を見るようにしてください。あなたには物事に別の考え方ができるかもしれません。他の国の人には物事についてどのように考えるだろう？ このことを知ることは興味深いことです。私たちが外国の人々を理解し、彼らと友達になろうとする時にも、このことは大切なことです。

【8】

解答

- (1) Emiko was looking at the children sadly.
- (2) My brother is always tired when he gets back from work.
- (3) We had heavy rain last night.
- (4) She looks nice in a red dress.

解説

- (1) 「悲しそうに」は動詞 look を修飾する副詞。sadly が適切。
- (2) 「疲れている」は tired で表せる。
- (4) < look + 形容詞 >で「～に見える」。「～を着て」は前置詞 in で表せる。



会員番号	
------	--

氏名	
----	--